

2020 年度事業計画

自：2020 年 6 月 1 日 至：2021 年 5 月 31 日

情報収集と発信

- ◆「アクセシビリティ公演情報サイト」における観劇情報掲載
- ◆メルマガ配信『TA-net 通信 ～舞台からの香り～』『アクセシビリティ公演情報 ～観ゲキ！感ゲキ！～』
- ◆PR 活動
 - ・広告定期出稿 2 件
 - ・特定非営利活動法人 東京都中途失聴・難聴者協会 / しかく

◆講演依頼

※コロナウイルス感染症対策のため現地での講演依頼のほとんどが中止になりました。オンラインでの講演依頼も承ります！

- ・6 月 19 日（金）Mirai Channel「未来に繋ぐギルド：舞台業界を支える様々な職人たちをご紹介します！」（廣川）
- ・8 月後半頃 オンラインにて高校生対象に様々な情報保障を紹介するイベントにて講演予定（廣川）

◆研究・発表協力

- ・国立筑波技術大学 助教 萩原彩子氏
「舞台芸術活動における聴覚障害者アクセシビリティ向上に向けた舞台手話通訳分析研究」
- ・国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科 卒業研究
- ・オンラインにおける手話通訳の在り方について（TA-net）

◆委員・会議出席依頼

- ・社会福祉法人大阪障害者自立支援協会
「障害者の舞台芸術表現・鑑賞支援プラットフォームの構築に向けて」委員（廣川）
- ・全日本ろうあ連盟 2018-2020 教育文化委員 / mimi 編集委員（廣川）
- ・AC ジャパン手話・字幕監修（廣川）
- ・公文協 コーディネーター（廣川）
- ・九州大学「社会包摂とアートに関するハンドブックのシリーズの続編」有識者委員（廣川）
- ・「2020 東京大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」オブザーバー（廣川）

相談・協働

- ・視覚障害者への観劇サポート相談は美月めぐみ氏（演劇結社ばっかりばっかり）と連携を取り対応していく
- ・演劇緊急支援プロジェクト (<https://engekikinkyushien.info/>) 団体参加費 5,000 円、拠出金一口 10,000 円

運営関連

- ◆定例会（原則として第 2 週金曜日 19 時～20 時 30 分 東京都障害者福祉会館・オンライン）
 - 6 月 12 日 2019 年度の振り返りと、2020 年度に向けて / 7 月 24 日 / 8 月 14 日 /
 - 9 月 11 日 / 10 月 9 日 / 11 月 13 日 / 12 月 11 日 8 周年生誕祭
 - 1 月 8 日 / 2 月 12 日 / 3 月 12 日 / 4 月 9 日 / 5 月 14 日

◆企画

- ・第7回シンポジウム 2021年2月（予定）（日本財団助成事業）
- ・舞台手話通訳者の養成（日本財団助成事業）
- ・舞台鑑賞啓発ワークショップ（日本財団助成事業）
- ・演劇関係のオンライン配信における手話通訳、UDトークによる文字支援

◆助成金

- ・公益財団法人日本財団…「舞台手話通訳者の養成」580万円

1) 舞台手話通訳者の実践研修

時期：2020年4月～2021年3月（計7回）

場所：札幌、仙台、東京、豊橋、大阪、福岡

参加者：33名（2018年、2019年本事業を受講した者）

内容：実際の公演で手話通訳を行うため講師から稽古時に指導を受け公演後フィードバックをもらう。

2) 舞台鑑賞啓発ワークショップの開催

時期：2020年4月～2021年3月（計5回）

場所：札幌、仙台、豊橋、大阪、福岡

参加者：各20名（ろう者・聴者）

内容：舞台手話通訳をつけて観ることのポイントを学ぶ

3) シンポジウムの開催

時期：2021年2月（計1回）

場所：東京

参加者：200名（演劇関係者、一般市民）

内容：舞台手話通訳の養成・研修の報告と今後の課題

- ・アーツカウンシル東京「平成30年度 東京芸術文化創造発信助成 第I期」（長期助成）…

「盲ろう者（視聴覚二重障害者）への観劇サポート支援」3年間で418万円

1年目 国内状況のリサーチ（アンケート、インタビュー）、情報収集、課題整理、シンポジウムでの報告

2年目 海外視察（フランス芸術祭におけるサポート状況視察）、ネットワーキング、シンポジウムでの報告

→2020年度は「3年目 海外からの支援者招聘およびセミナー開催、シンポジウム・セミナーによる啓発」にあたるが
コロナウイルス感染症対策による海外往来、劇場における観劇環境の整備に不安があるため2021年度に延期実施

◆情報保障コーディネート

舞台関連（アフタートーク含む）手話通訳、文字支援協力は引き続き行う

以上